

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(4月13日～4月19日)

2021年4月22日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、プーチン露大統領と電話会談。(4/15)
- ルカシェンコ大統領、自身と複数の子息に対して危害を加えることを計画したグループが拘束された旨発表し、同グループと米国の特務機関との関係を指摘。(4/17)
- 米国が対ベラルーシ制裁の一時停止を解除し、新たな制裁の導入を発表。(4/19)

【ルカシェンコ大統領動静】

- アゼルバイジャンを訪問し、アリエフ大統領と会談。
・ルカシェンコ大統領は、ナゴルノ・カラバフ紛争における「バクーの勝利」を言明し、軍事的被害を受けた紛争地域の復興に協力する用意を表明。また、ベラルーシ製の新型コロナウィルス・ワクチンのアゼルバイジャンへの輸出を提案。
・双方は、炭化水素資源の供給深化の問題や貿易・経済協力について検討。
(4/13-14 大統領公式ホームページ)

- プーチン露大統領と電話会談。
両首脳の間にはベラルーシ・ロシア関係の発展に向けられ、さらに国際的な諸課題についても意見が交わされた他、今後の会談の予定についても議論された。
(4/15 大統領公式ホームページ)

- ナザルバエフ・カザフスタン初代大統領と電話会談。
ナザルバエフ氏はルカシェンコ大統領のカザフスタン訪問を招待する旨述べ、ルカシェンコ大統領もナザルバエフ氏のベラルーシ訪問を招待する旨伝えた。
(4/15 大統領公式ホームページ)

- ミシュスチン露首相と会談。
ルカシェンコ大統領は、プーチン露大統領の指示どおりベラルーシ側との協議のためにミシュスチン首相が来訪したことに謝意を表明。
(4/16 大統領公式ホームページ)

- 大統領自身と複数の子息に対して危害を加えることを計画したグループが拘束された旨発表し、同グループと米国の特務機関との関係を指摘。
同大統領は、容疑者として、米国籍を持つ弁護士のユーリー・ゼンケヴィチ、ルカシェンコ大統領の初代報道官であった政治学者のアレクサンドル・フェドゥータ(両者はモスクワで拘束)、「ベラルーシ国民戦線」党首のグリゴリー・コストゥセフらの名を挙げた。
(4/17-19 ベラパン通信)

- 共和国土曜労働に参加。
(4/17 大統領公式ホームページ)

【外交】

- ベラルーシ国防省、ポーランドによるベラルーシに対する領空侵犯があったと発表。
(4/13 ベラパン通信)

- ポーランド国防軍、ベラルーシ国防省のポーランドのベラルーシ領空侵犯に関する発表を否定。
(4/13 ベラパン通信)

- グレヴィチ・ベラルーシ軍参謀本部長、ザシ集団安全保障条約機構事務局長と会談。
(4/13 ベラパン通信)

- グレヴィチ・ベラルーシ軍参謀本部長、モスクワで開催された集団安全保障条約機構第18回軍事会議

に参加し、ロシア・ベラルーシ国境における NATO 軍の活発化について言及。

(4/14 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、駐ベラルーシ・ドイツ大使、フランス大使と会談。

(4/16 ベラパン通信)

●ベラルーシ外務省、米国による対露制裁に対し、反対を表明。

(4/16 ベラパン通信)

●ロシア連邦保安庁、フェドゥータ氏(ベラルーシ人政治学者、ルカシエンコ大統領の初代報道官)、ゼンケヴィチ氏(ベラルーシ系米国人弁護士)がベラルーシにおいて軍事クーデター及びルカシエンコ大統領の暗殺を計画していた、と発表。

(4/17 ベラパン通信)

●ポーランド大統領府長官、ロシア連邦保安庁によるベラルーシにおける軍事クーデター・ルカシエンコ暗殺計画に関する発表を否定。

(4/18 ベラパン通信)

●米国が対ベラルーシ制裁の一時停止を解除し、新たな制裁の導入を発表。(4/19)

・米国財務省は、外国資産管理局によりベラルーシに係る一般許可2Gが取り下げられ、代わりに一般許可2H「特定の禁止対象者が関与する取引の停止指示」が発動されることを発表。

・今次制裁では、ベラルーシ国営企業9社及び当該国営企業が50%以上の株式を保有している企業が関与する特定の取引が、米国東部夏時間の2021年6月3日の12:01を過ぎた時点から禁止される。

・制裁対象の9社は、ベラルーシ石油商業館(当館注:原油購入・精製・石油製品販売などを行う企業)、石油化学コンツェルン「ベルネフチェヒム」、ベルネフチェヒムUSA社、ベルシナ社、グロドノ窒素社、グロドノ化学繊維社、ラコラスカ社、ナフタン社及びポロツ

クガラス繊維社。

【経済】

●ベラルーシ石油関連コンツェルン・ベルネフチェヒム社、アゼルバイジャン石油企業 SOCAR 社とのベラルーシにおける石油製品製造の協力覚書を締結。

(4/14 ベラパン通信)

●2021年1月～2月、ベラルーシ赤字企業数、昨年同期対比9%増加。

(4/14 ベラパン通信)

●ベラルーシ企業の延滞債務残高、年始対比、2.2%増加。

(4/15 ベラパン通信)

●2021年第一四半期、ベラルーシ国内産業生産高、昨年同期対比、9.2%増加。

(4/16 ベラパン通信)

●2021年第一四半期、ベラルーシ国内小売流通高、昨年同期対比4.5%減少。

(4/16 ベラパン通信)

●2021年第一四半期、ベラルーシ GDP 成長率、昨年同期対比+0.9%。

(4/16 ベラパン通信)

【内政】

●2021年4月1日時点の失業者数、約8600人と昨年同日対比約14%減少。

(4/16 ベラパン通信)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表、マリヤ・ペイチノビッチ・ブリッチ欧州評議会事務局長とオンライン会談を実施

チハノフスカヤ氏は、欧州評議会とベラルーシとの

関係を見直して、ベラルーシ民主勢力が同評議会の活動に関与できる可能性を作り出すことを呼びかけた。

(4/19 ベラパン通信)

(了)